

まいにち学校
まいにち街の中
こどもの笑顔に
なげる
まいにち

はじける まちづくり Vol.37



手作りの和太鼓を演奏。「エイサー」のかけ声も元気いっぱい!
MerryTime 「わくわく子ども村」



先生のまねっこが上手になって、歌に合わせてする手遊びも
真剣そのもの MerryTime 「わんぱくらんど」

げんげのとは：れんげ草が生い茂った草原のこと。れんげ草は、茎が地に臥して広がり、春になると蓮の花に似た小花を咲かせます。また、れんげ草は緑肥として大地を肥やします。蓮に似た小さなれんげ草を、子どもたち一人ひとりの尊厳に見立てて、それが一面に花開く様子をイメージしました

- | | | |
|-----|---|-------|
| 特集1 | ・人権教育研修（ホームレス問題から考えるいじめ問題）
北村 年子さん（一般社団法人ホームレス問題の授業づくり全国ネット） | … 1 P |
| | ・箕面市人権宣言20周年によせて 「空気と人権考…」 河野 秀忠さん | … 4 P |
| 連 載 | ・知ってる？ 市民のちから 「NPO法人キッズ＆子育て応援隊 MerryTime」 | … 5 P |
| | ・わたしの人権教育 岸本 優子さん（箕面市立南小学校 養護教諭） | … 6 P |
| | ・司書さんのおすすめ本 『あのときすきになったよ』
鶴長 幸子さん（豊川北小学校 学校図書館司書） | … 6 P |
| | ・聞かせてよ子どもの気持ち 大福プロジェクト | … 7 P |

げんげののペえじ みのおから世界へ！人権文化の花束を！

「大阪」と「福島」をつなぐ意味で「大福プロジェクト」と名付けられたこの取り組みを企画した中村雄介さん（NPO法人暮らしづくりネットワーク北芝）にお話をうかがいました。中村さんは、支援に向け何度も話し合いを重ねる中で、福島では結婚が破談になる話や、根拠のない、見えないものを避けるという差別意識が働いていることを知りました。これは、北芝で解消に向け取り組んできた部落差別と同じ構造になっていると、「福島」の支援に取り組む背景もお聞きしました。

このプロジェクトでは、事前に、お互いを知るためにビデオレターでメッセージや、どこに行きたいかなどを共有し、当日を迎ました。大阪ならではの観光を取り入れつつ、子どもだけではなく、保護者の方々の交流もかなり深めることができたことも成果の1

平成25年3月、福島県に住む就学前の子ども含む3世代24人が、3日間に渡り箕面市に滞在しました。外で思い切り遊べない子どもたち、地域コミュニティが寸断されてしまつた地域で過ごす大人たちに、何か伝えられることはないだろうか。そんな思いから生まれた「大福プロジェクト」を人権教育推進会議の永田香員が取材しました。

つだなあつと思いました。

「福島」の原発事故の被害は、収束されることなく、日々福島で暮らす方々の暮らしを脅かし、また、前述した差別が明らかとなっています。外で大いに遊びまわる環境も保障されず、風土の違うところで暮らすことを余儀なくされ、家族が分断されていていることを中村さんは特に強くおっしゃっていて、私にとつてもとても印象に残った言葉でした。

今年も継続して大福プロジェクトが行われます。「まちづくり」「人と人をつなぐコミュニケーション」の姿勢や積み重ねてこられた活動が福島のみなさん、そして子どもたちの元気や笑顔につながることを切に願っています。

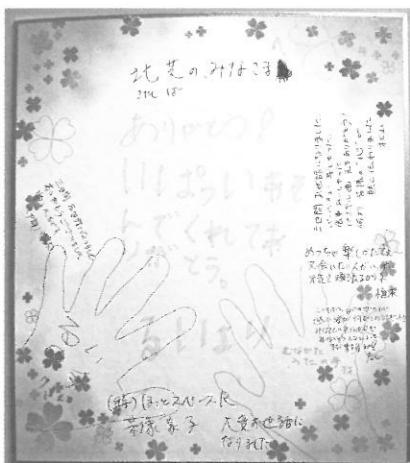
また、願うだけではなく、私たちに何がこの箕面でできるかを考え続け、一つ一つ実現していくことを進めていくと思います。



参加者からおくられた色紙②
活動の様子



参加者からおくられた色紙①
メンバーの似顔絵



参加者からおくられた色紙③
メッセージの寄せ書き

人権教育推進会議情報誌『はじける こころ』

発行 箕面市人権教育推進会議
箕面市教育委員会 人権教育課
TEL 072-724-6921 FAX 072-724-6010
e-mail : edujinken@maple.city.minoh.lg.jp

平成26年（2014年）3月

人権教育推進会議委員

八木晃介 河野秀忠 井原芳朗 細谷明代 若狭千絵 藤井朋子 上田晃江 若狭周二
石井順子 山口和子 中西庸介 佐藤秀昭 森崎直幸 宮本美能 永田千砂 松岡淑子

ご意見、ご感想等ございましたら上記宛先までお寄せください。
公開ホームページ : <http://www.city.minoh.lg.jp/edujinken/jinken.html>



聴かせてよ子どもの気持ち
～大福プロジェクト～



大阪と福島
キミが“ふふふく”
するように…

『わたしの人権教育』について書いてくださいとご依頼いただき、お引き受けしたものの、何を書いたらよいのかと考えあぐねていたところ、間近に迫る卒業式の予行を終えた6年生が3人、保健室にやってきました。卒業写真を撮るために当日の衣装を身につけた姿を見て、「すてきやん!」「お、かっこいいやん!」と声をかけると、真を撮るために当日の衣装を身につけた姿を見て、「すてきやん!」と繰り返し…。やがて、また別の子どもたちがやってきて「お、いいやん!」と繰り返します。子どもたちから、これも人権教育ちやう?と、ふと教えられた気がしたからです。

わたしは、一人で保健室にいるときはいつも出入り口の扉を開けっぱなしにしています。「保健室はみんなの教室、いつでもきていいよ」というメッセージを送りたいと始めました。あけっぱなしの扉の前を、「先生!」と子どもたちが笑顔で通りすぎます。教室移動中、うつむく姿が見えて、何かあったな…。と子どもの背中を見送ることもあります。休み時間などには子どもたちはふらりとやってきます。保健室に踏み込んで、「よっしゃ!」と小さくつぶやき帰っていく子もいます。

『わたしの人権教育』について書いてくださいとご依頼いただき、お引き受けしたものの、何を書いたらよいのかと考えあぐねていたところ、間近に迫る卒業式の予行を終えた6年生が3人、保健室にやってきました。卒業写真を撮るために当日の衣装を身につけた姿を見て、「すてきやん!」「お、かっこいいやん!」と声をかけると、真を撮るために当日の衣装を身につけた姿を見て、「すてきやん!」と繰り返し…。やがて、また別の子どもたちがやってきて「お、いいやん!」と繰り返します。子どもたちから、これも人権教育ちやう?と、ふと教えられた気がしたからです。

わたしは、一人で保健室にいるときはいつも出入り口の扉を開けっぱなしにしています。「保健室はみんなの教室、いつでもきていいよ」というメッセージを送りたいと始めました。あけっぱなしの扉の前を、「先生!」と子どもたちが笑顔で通りすぎます。教室移動中、うつむく姿が見えて、何かあったな…。と子どもの背中を見送ることもあります。休み時間などには子どもたちはふらりとやってきます。保健室に踏み込んで、「よっしゃ!」と小さくつぶやき帰っていく子もいます。

わたしの人権教育 学校で安心して学べること

箕面市立南小学校 養護教諭 岸 本 優 子

図書さんのおすすめ本 『なのじきすきになつたよ』

飯野和好/作 教育画劇 (1998)



『わたしの人権教育』について書いてくださいとご依頼いただき、お引き受けしたものの、何を書いたらよいのかと考えあぐねていたところ、間近に迫る卒業式の予行を終えた6年生が3人、保健室にやってきました。卒業写真を撮るために当日の衣装を身につけた姿を見て、「すてきやん!」「お、かっこいいやん!」と声をかけると、真を撮るために当日の衣装を身につけた姿を見て、「すてきやん!」と繰り返します。子どもたちから、これも人権教育ちやう?と、ふと教えられた気がしたからです。

わたしは、一人で保健室にいるときはいつも出入り口の扉を開けっぱなしにしています。「保健室はみんなの教室、いつでもきていいよ」というメッセージを送りたいと始めました。あけっぱなしの扉の前を、「先生!」と子どもたちが笑顔で通りすぎます。教室移動中、うつむく姿が見えて、何かあったな…。と子どもの背中を見送ることもあります。休み時間などには子どもたちはふらりとやってきます。保健室に踏み込んで、「よっしゃ!」と小さくつぶやき帰っていく子もいます。

好奇心、意欲、人と関わる力は「あそび」を通して育れます。大人にも子どもにもあそびを大切にしなが自立に向けたサポートをしていきたいと考えています。」と語るのは永谷陽子さん。幼児から大人まで幅広い年代に向け、20年に渡りキャリア形成のプログラムを開催しているNPO法人キッズ＆子育て応援隊Merry Timeの代表理事をされています。

今回、取材に伺ったのは、保護者を対象にしたプログラムの「子育てキャリア塾(mam)」。(以下「マム」と表記)集まった6人の中には、大阪市内や摂津市など、遠方からの参加者も。

当日のプログラム「絵本作家になつてみよう」では、1ページ目の絵と文章をもとにグループごとに話の続きを考えます。出来上がった作品は奇想天外なものから、哲学的なものまで作風も様々。発表後には「おー」という歓声とともに拍手が起きました。活動の根底にある考え方を尋ねる

と、「全ての活動に通じるのは自己肯定感、自己効力感を高めること。お母さんたち自身が安定していないと、家庭や子育てでうまくいかず이라는ライラしがちです。」と永谷さん。次回の活動は、以前実施されたプログラム「ツアーハンダクターになつてみよう」のプレゼンテーションで1位に選ばれた天王寺界隈へ実際に出かけるなど、活動内容は毎回異なります。参加者は下の名前やニックネームで呼び合つていて、まさに「仲間」という感じのアットホームな雰囲気の中で活動されています。

また、様々な体験だけでなく、時には子育てについて真剣に語り合うこともあります。井戸端会議では、利害関係があつたり、人間関係を気にしたりして本音で話すことなどが難しいが、「マム」では、安心して話し合えるよう、心理学やファシリテーションの手法を取り入れていること。毎回異なるプログラムを永谷さんとともに企画するのが高宮さん。8

今後の展望をお聞きすると、子育てを苦手だと感じたり、負担に感じている保護者にも参加してもらいたいと永谷さん。「しんどい思いを抱いてもらつて、笑つてもらうだけでも気分が変わると思います。そういうお母さんも、マムに出てきています。参加者は下の名前やニックネームで呼び合つていて、まさに「仲間」という感じのアットホームな雰囲気の中で活動されています。

また、様々な体験だけでなく、時には子育てについて真剣に語り合うこともあります。井戸端会議では、利害関係があつたり、人間関係を気にしたりして本音で話すことなどが難しいが、「マム」では、安心して話し合えるよう、心理学やファシリテーションの手法を取り入れていること。毎回異なるプログラムを永谷さんとともに企画するのが高宮さん。8



本づくりのモデルとなった絵本『何かが足りない』の読み語りを聴く参加者

* (取材に参加して) *
私が勤める放課後等ディサービス「さんかくひろば」の子どもたちがつたり、人間関係を気にしたりして本音で話すことなどが難しいが、「マム」では、安心して話し合えるよう、心理学やファシリテーションの手法を取り入れていること。毎回異なるプログラムを永谷さんとともに企画するのが高宮さん。8

● (参加者の声) ●
「さんかくひろば」の子どもたちがつたり、人間関係を気にしたりして本音で話すことなどが難しいが、「マム」では、安心して話し合えるよう、心理学やファシリテーションの手法を取り入れていること。毎回異なるプログラムを永谷さんとともに企画するのが高宮さん。8

● (参加者の声) ●
最初は「しつこ」という言葉に反応して、にやにやしながら

いました。多くの方に活動を知つても、参加して8年になります。マムは、自分の生活では経験できなかつたことで、プログラムに広がりや深まり生ります。

知つてる?市民のちから 「あそびで育む生きる力・育てる力」

NPO法人キッズ＆子育て応援隊Merry Time

新箕面市人権教育基本方針のうたう「市民との協働による人権教育」を進めるにあたり、市内で活動する市民や団体を紹介するこのコーナー。「あそび」を通してキャリア形成の取組を行つNPOを取材しました。

年専業主婦生活から一転、養成講座を経てフリーのコピーライターとして働くという異色のキャリアを持ちます。高宮さんのお気に入りの企画は「箪笥の肥やし」となつて自宅の服など持ち寄り、プロのファッショングーディネーターから組み合わせを学ぶというもの。得意分野の異なる2人で企画を行うことで、プログラムに広がりや深まり生まれます。

● (参加者の声) ●
最初は「しつこ」という言葉に反応して、にやにやしながら

いました。多くの方に活動を知つても、参加して8年になります。マムは、自分の生活では経験できなかつたことで、プログラムに広がりや深まり生ります。



最初は「しつこ」という言葉に反応して、にやにやしながら

いました。多くの方に活動を知つても、参加して8年になります。マムは、自分の生活では経験できなかつたことで、プログラムに広がりや深まり生ります。